

### 3 一般緑化のポイント

#### 維持管理のポイント

##### ■水やり

○植物の状態をよく見て、植物に合わせて適宜水やりをしましょう。

- ➡ 保水力に乏しい植栽帯
- ➡ 高架下など雨水による水分補給が期待できない植栽帯
- ➡ 猛暑が長く続いた場合（夏季の日中は水の温度があがり植物を傷めるため、朝夕の涼しいときに。どうしても日中の水やりが必要な場合は、水温（地温）が下がるまで、たっぷり水やりしましょう。）※春先の夏日が続くような時にも注意が必要
- ➡ 移植直後の樹木や植え付け後根付くまでの苗木

○水やりは**地面に浸透する**ようにゆっくりたっぷり行いましょう。土を触ってみると浸透具合がわかります。**雨後でも浸透していない場合があります**ので注意しましょう。

##### ■除草

○雑草は景観を悪くするだけでなく、幼苗や低木を覆い、日照不足を招きます。また、土壌の養分を奪ってしまうなどの害もあるため、適宜除去しましょう。

- ➡ **マルチング**（良好な育成環境をつくるため、樹木の根元を敷きわらやパークチップなどで覆うこと）を施すことなどで雑草を抑えることができます。

○除草には以下の方法があります。

【人力除草】細やかな対応ができますが、手間がかかります。

【刈取り除草】地上部のみ刈払機等の機械器具で除草する方法。  
根が残るため再度発生します。

【薬剤散布】使用上の留意点を厳守し、周辺環境への影響を考慮します。



雑草に覆われた植栽帯

##### ■剪定

○剪定は樹木の健全な成長や景観的に見た目を整える以外に、台風などのときの風折れや枝折れを防ぐ役割もあります。樹種や目的にあわせた適切な剪定を行いましょう。

- ➡ 樹木の形は一度崩れるとなかなか戻りません。剪定する際は樹種に応じた**目標樹形を設定**しましょう。（自然の形を大切にする、目線を遮らないなど）
- ➡ 樹種によっては**切り戻し**、**コンパクトに育てなおす**ことも可能です。

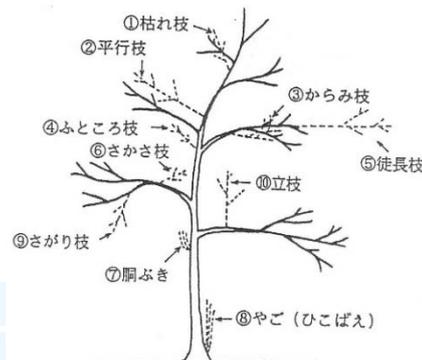
○剪定には整姿剪定と整枝剪定があります。目的に応じて使い分けましょう。

【整姿剪定】風害による倒木や病虫害を防除すること等を目的として行う剪定。

【整枝剪定】主に枝を整え樹形の骨格をつくることを目的として行う剪定。

○剪定は適期に行いましょう。中高木は毎年行わなくても構いません。（コンパクトにする場合は毎年剪定します。）

- ➡ 落葉樹：混み入りすぎた **7~8月頃**と成長が低下する **11~3月頃**
- ➡ 常緑樹：落葉する **5~6月頃**と寒くなる前である **9~10月頃**
- ➡ 針葉樹：真冬を避けた **10~11月頃**と春先
- ➡ 花木：**開花後1ヵ月を経過する前**に作業する



図のような不要枝を取り除いてから整姿剪定や整枝剪定を行う  
（出典：『街路樹管理マニュアル』）

(花木の剪定時期の例)

- ☆アジサイ 夏から秋に花芽がつくので、花後すぐに、花の下に葉を2~3枚つけた位置で剪定します。
- ☆ハナミズキ 夏に花芽がつくので、花後すぐか冬季に花芽がついていない徒長枝や細い枝を取り除きます。



アジサイの剪定は花後すぐに行う

■ マルチング

- 植物の根元に敷きわら、バークチップなどを敷いて、乾燥防止や保湿、雑草の繁殖防止などを行います。
- ➡バークチップにはネキリムシが発生する場合があります。
- 風による飛散、たばこなどの投げ捨てによる火災、降雨による流亡に注意します。



マルチングの資材には敷きわら、バークチップ、雑草防止シートなどがあります。

■ 施肥

- 年に1~2回程度、植物の状態に合わせて適切な肥料を適量施します。
- ➡施肥には年間に必要な養分を施すために **12~2月頃に行う元肥**と樹勢回復などのために **6~9月に行う追肥**があります。
- ➡花木や果樹は年2回程度(元肥と花実後のお礼肥)の施肥を行います。

■ 病虫害防除

- 病虫害が発生したら除去に努めましょう。
- ➡病気が発生したら「伝染源となる罹病した枝葉等を集めて焼却する」「発生の初期に殺菌剤を散布する」「被害株を抜き取る」「汚染された場所の土壌を消毒する」などの処置を施します。
- ➡病虫害は目に見えない、または、見つけにくいことが多いので、葉、枝、枝先、幹と分けて状態をよく観察し判断します。
- 病害が蔓延してしまった場合などには薬剤に頼らざるを得ません。ただし、薬剤の使用には注意が必要です。
- ➡利用者等への影響は避けられないので、**利用者等に害を及ぼさないよう**、使用上の注意をよく読んで利用しましょう。
- ➡同一薬剤の連用は病虫害に薬剤耐性がつく恐れがあるのでタイプの異なる薬剤を使用しましょう。



ツバキ属の葉を食べるチャクガ。刺されると激しいかゆみが残ります。

管理スケジュール例

植栽場所の環境や品種によってスケジュールは変わります。

